

May.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO.,LTD. All Rights Reserved.
本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問合せ下さい。

適用規格		△UL 認定品(E52653)				
定 格	使用温度範囲	-25℃ ～ +85℃		保存温度範囲	-25℃ ～ +85℃	
	電 圧	AC, DC 125 V AC, DC 250 V (UL) △		電線サイズ	AWG#16以下	
	電 流	10 A		適合ケーブル	_____	
性 能						
	項 目	試 験 方 法		規 格	QT AT	
構造	外観、構造及び仕 上げ	目視、寸法測定器にて測定する。		図面と合致していること。	○ ○	
	表示	目視にて確認する。			○ ○	
電 氣 的 性 能	接触抵抗	単位コネクタをDC 1 Aで測定する。		5 mΩ以下	○ ○	
	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。		1000MΩ以上	○ ○	
	耐電圧	端子間、端子-シェル間にAC 1250 Vの電圧を 1分間印加する。		せん絡・絶縁破壊がないこと。	○ ○	
機 械 的 性 能	コネクタの挿抜力	_____ の鋼製ピンで測定する。		挿抜力 — N 以上	— —	
	コネクタの挿抜力	適合コネクタで測定する。 但し、ロック機構を除く。		挿抜力 30 N 以下	○ —	
	繰り返し動作	1000 回の抜き差しを行う。		接触抵抗：10 mΩ以下	○ —	
	耐振性	周波数 10～ 55～ 10Hz, 振幅 0.75mm 5分/サイクルで3軸方向各10サイクル試験する。		①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○ —	
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3軸両方向各 3 回試験する。		①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○ —	
	コネクタ破壊強度	適合コネクタをか合した状態で、ケーブルを上下 左右方向に力を加える。		100N以下でコネクタの破損が 無いこと。	○ —	
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 40℃, 湿度 90～95 %中に 96 時間 放置する。		①絶縁抵抗：10 MΩ以上（高湿時） ②絶縁抵抗：100 MΩ以上（乾燥時） ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○ —	
	温度サイクル	温度 -55℃ → 常温 → +85℃ → 常温 時間 30 → 2～3 → 30 → 2～3 分 を 5サイクル試験する。		①絶縁抵抗：100MΩ以上 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○ —	
	塩水噴霧	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。		機能を損なうようなはなはだしい 腐食がないこと。	○ —	
	耐熱性	温度 +85℃中に 96 時間放置する。		破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○ —	
	耐寒性	温度 -55℃中に 96 時間放置する。		破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○ —	
	はんだ耐熱性	はんだこてをこて先温度+350±10℃で 5±1秒間ソルダ・ボット部へ当てる。		外観に機能を損なう変形及び著しいガタ がないこと。	○ —	
	はんだ付け性	はんだこてをこて先温度+350±10℃で 2～3秒間のはんだ付けを行う。		はんだ付け表面は、ピン・ホール、ぬれなし、はんだ はじき部分などの欠点のないこと。	○ —	
	耐水圧性	適合コネクタをかん合した状態で 水深 1.8mに 48時間放置する。		コネクタ内部への浸水がないこと。	○ —	
	耐気圧性	適合コネクタをかん合した状態で、コネクタ内部 に17-圧 17.6kPaを 30秒間加える。		コネクタ内部より気泡の発生がないこと。	○ —	
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日	
2	2	DIS-C-00003269	KN. IKEHARA	HN. TANAKA	20190614	
備考				承認	MO. SATOH	20070727
				検 図	EJ. KUNII	20070727
				担 当	TO. HORII	20070724
				製 図	TO. HORII	20070724
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512を適用している。(JIS C 5402) △						
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番	SLC4-115618-00		
HRS	製 品 規 格 表		製品名	LF10WBRB-4P		
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL136-1118-4-00	△ 1/1	